



## ♪ 誰の心も 雨のち晴レルヤ

いよいよ明日、3年生は“最後の給食”を迎えます。詫間中学校の最後だけでなく、もしかすると人生最後の給食になるかもしれません。これからの昼食は、お弁当、食堂、コンビニなど、人それぞれ違うメニューになります。でも、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつだけは忘れないでください。

「ご馳走さま(ごちそうさま)」は、日本語の食事後の挨拶である。「馳走(ちそう)」とは「走りまわる」「奔走(ほんそう)する」ことを意味する。その後、浄土真宗において、大事な来客をもてなすために馬に乗るなどして、遠方まで奔走して食材を調達した人達への感謝を表す言葉としても用いられるようになった。さらに、「ご」と「さま」が付けられて丁寧語となった。このくだけた言い方が「ごちそうさん」である。※Wikipediaより引用

さて、『ごちそうさん』といえば、現在放映されているNHK連続テレビ小説です。番組が決定したときのNHKのブログには、「どんな困難にぶち当たっても絶望の淵に立たされても、ごはんを食べていけば何とかかなる! そんなシンプルだけれど力強い信念を持ち生きるパワーにあふれた女性とその家族の物語です」と紹介されていました。そして、ゆずが歌う主題歌『雨のち晴レルヤ』には、次のような歌詞があります。「♪どんな君でもアイシテイル 顔を上げてごらん光が照らす 涙の河も海へと帰る 誰の心も雨のち晴レルヤ……」「♪何があってもそばにいるよ 君と待っていたい昇る朝日を さらば手を振ろう哀しみ達には流れて笑顔になれるよ……」。

何事も、最初からうまくいくはずはありません。でも、「冬の厳しい寒さに耐えれば春が来る」「雨が降らなきゃ虹は出ない」「涙の後の笑顔が一番輝いている」「朝の来ない夜はない」のです。

明日、中学校3年間の思いを込めて(1・2年生は今の学級があとわずかという思いを込めて)、最後に「ごちそうさま」と大きな声で言ってみましょう。「誰の心も雨のち晴レルヤ」になることを願っています。

## 今こそ、「OVERCOME MYSELF ~全力が未来を変える~」

これは、今から4年前に河合塾が新聞広告で掲載したもので、毎年この時期に受験生へのエールとして紹介しています。1・2年生にとっても、いずれこの日を迎えることになります。

どんなに競争率が高くても、どんなに隣の人が気になっても、最後は自分自身との戦いです。全力で挑みましょう。“全力が未来を変える”は、高校入試のスローガンでもあるのです。

ライバルは、たった一人。自分だ。

受験生の皆さん。そして離れて見守る保護者の皆さん。

いよいよ、この日がやってきました。

もうすぐ試験が始まろうとしている今、あなたはどんな顔をしていますか。

ひょっとしたら鏡の中には、いつもと違う自分がいるかもしれません。

その「いつもと違う自分」こそが、今日のあなたの最大のライバルです。

ひとつ深呼吸して、それから笑って、そいつを吹き飛ばしてやりましょう。

あなたはこれから、抱いてきた夢のとびらを開けるのです。

怯むこともない。気負うこともない。

その瞬間にできるすべてを、思う存分、答案用紙にぶつけてくればいい。

さあ、いつもの通り出かけましょう。夢をその手でつかむために。

- ◆ 俺のライバルは明日の俺だ。過去の俺とは戦わない!【松本人志】
- ◆ 人を信じよ。しかし、その百倍、自らを信じよ。【手塚治虫】
- ◆ そろそろ自分を信じていい頃だ。今の君はもう十分あの頃を越えているよ。【安西先生(スラムダンク)】
- ◆ あなたは迷っていても、ドアは開いている。羽をあげるから信じて飛べばいい。【アンジェラ・アキ】
- ◆ 今日の成果は、過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。【稲盛和夫】
- ◆ もしも限界があるとすれば、それはあきらめた瞬間でしょう。【杉下右京(相棒)】

※Facebook『心に響く「魔法の言葉(名言)」集』から引用。平成24年度浦島伝説第45号(H25.3.11発行)再掲。